

## 研究・調査報告書

報告書番号	担当
295	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)	
Alcohol consumption and injury among Canadian adolescents: variations by urban-rural geographic status. カナダ人若年者の飲酒と外傷：都市部・農村部の地理的条件による検討	
執筆者	
Jiang X, Li D, Boyce W, Pickett W.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
J Rural Health. 2008 Spring;24(2):143-7.	
キーワード	
若年者 飲酒習慣 都市部 農村部 外傷	
要 旨	
<p><b>背景：</b> 農村部の若者における飲酒の外傷に対する影響は重要であるが十分に調べられていない公衆衛生学的な課題である。都市部と農村部の若者の間で飲酒と外傷との関連に違いがあるかどうかはほとんど明らかにされていない。</p> <p><b>目的：</b> カナダ国民の代表性のある若者の集団において、地理的条件（都市部か農村部か）の相違により飲酒と医療を必要とする外傷との関連に違いがあるかどうかを検討すること。</p> <p><b>方法：</b> カナダの2001-2002年就学者健康行動調査のうち、11～15歳の7,031名の副次解析によって検討した。回答者は都市部・農村部の5地区に分類された。多重ロジスティック回帰分析によって、5地区での飲酒習慣と若年者の外傷との関連を検討した。</p> <p><b>結果：</b> 都市部よりも農村部の方が飲酒率と若年外傷発生率は高かった。飲酒習慣は外傷発生危険度と関連があり、飲酒量が多いほどその危険度は高かった。その関連は都市部・農村部のいずれでも同様に見られた。</p> <p><b>結論：</b> 未成年による不適切な飲酒は外傷の重要な原因となりうる。飲酒習慣のある若年者は外傷の危険度が高く、この点については都市部・農村部の差がなかった。このことは、地理的条件にかかわらず高リスク若年者集団に対して予防的介入を行う必要があることを示唆している。</p>	